

令和2年12月7日

各位

会社名 株式会社マネーパートナーズグループ  
 代表者名 代表取締役社長 福島 秀治  
 (コード番号: 8732 東証第一部)  
 問合せ先 財務部長 権代 徹也  
 (TEL. 03-4540-3804)

## 2020年11月次 月次概況 (速報) のお知らせ

2020年11月次の当社グループの月次概況 (連結ベース) を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

## 記

年 月	2020年3月期											
	2019年									2020年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	436	430	438	446	552	397	411	293	432	506	450	1,077
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	64,962	85,708	73,679	70,709	121,698	72,241	69,676	43,497	45,475	60,432	87,717	163,604
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	331,528	332,653	333,795	334,878	335,861	336,996	337,918	338,691	339,443	339,790	340,014	340,483
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	64,226	63,060	64,426	64,422	63,282	63,293	64,021	63,383	63,183	69,788	66,290	65,510
一般顧客	57,695	58,098	58,594	58,474	59,231	58,929	59,250	58,536	58,072	64,763	61,596	62,895
金融法人 (BtoB)	6,531	4,961	5,831	5,948	4,050	4,363	4,770	4,847	5,111	5,025	4,693	2,614
マネパカード口座数 (単位: 口座)	152,808	153,899	155,079	156,330	157,321	158,101	158,861	159,676	160,307	161,324	162,167	162,655

年 月	2021年3月期											
	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業収益 (単位: 百万円)	407	303	318	282	309	310	273	355				
外国為替取引高 (単位: 百万通貨単位)	82,072	92,851	106,893	75,910	85,460	82,287	60,129	75,348				
外国為替取引口座数 (単位: 口座)	340,605	340,735	340,825	340,830	340,840	340,768	341,218	341,138				
外国為替取引預り証拠金 (単位: 百万円)	62,460	62,004	61,807	62,331	62,751	65,155	62,104	61,812				
一般顧客	60,227	59,654	59,267	60,022	60,364	63,044	60,121	59,849				
金融法人 (BtoB)	2,232	2,350	2,539	2,309	2,386	2,111	1,982	1,963				
マネパカード口座数 (単位: 口座)	162,828	163,034	163,058	163,086	163,138	163,159	163,034	162,996				

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っていません。
2. 外国為替取引口座数、マネパカード口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
3. 2011年8月より差金決済取引 (CFD) の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高 (原取引単位を米ドルに換算) 及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
4. 外国為替取引預り証拠金は、一般顧客からの取引によるものとBtoB取引先である金融法人からの取引によるものを区分して表示しております。
5. 2020年7月27日より連結子会社のコインエージ株式会社が暗号資産交換業者としてビットコイン現物販売所を開業しており、「営業収益」には2020年7月より同社の数値を含めて表示しております。

#### <11月次の概況>

11月の外国為替相場は、米ドル／円については、1ドル＝104円台半ばで取引が始まり、米大統領選挙を控えたポジション調整からドル売りが先行しましたが、4日に開票が進むとトランプ候補優勢の報道からドル買いに転じ、一時105円台前半まで上昇しました。その後、一転してバイデン候補優勢の報道からドル買いは一服し、FOMCでは市場の予想通りゼロ金利政策、量的緩和据え置きが決定され、「新型コロナウイルスは経済の見通しへ重大なリスクをもたらす」との懸念が示されたことでドル売りが強まり、6日には103円台前半の安値を付けました。しかし、米10月雇用統計が市場予想を上回ったことや、新型コロナウイルスワクチンが最終段階の治験で高い有効性を示したと発表されたことで景気見通しが大幅に改善され、リスク選好の円売りに拍車がかかり、11日には105円台後半の高値を付けました。しかし、月後半にかけては、23日、24日に発表された米経済指標が好内容だったことで一時的な上昇は見られたものの、欧米の新型コロナ感染再拡大への懸念から上値は重く徐々に下値を切り下げ、104円台前半で月末を迎えました。一方、米ドル／円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨については、概ね円安方向での推移となりました。外国為替相場の変動率は、ユーロ／円は前月から低下したものの、米ドル／円や豪ドル／円等の値動きが回復し、全体として低調な水準であった前月から若干回復しました。

このような状況の中、外国為替取引高は前月比25%増加の753億通貨単位となりました。一方、営業収益は、新型コロナによる市場の混乱からの金利低下の影響が続く中、月後半にかけてはスワップカバーの手法を変えたことによりスワップ収益が回復基調で推移したことや、外国為替取引高の大幅な増加等により、前月比30%増加の355百万円となりました。また、外国為替取引預り証拠金は一般顧客分と金融法人分が共に減少となり、全体では291百万円減少の61,812百万円となりました。

以 上